

1. 計画概要

（1）策定の趣旨

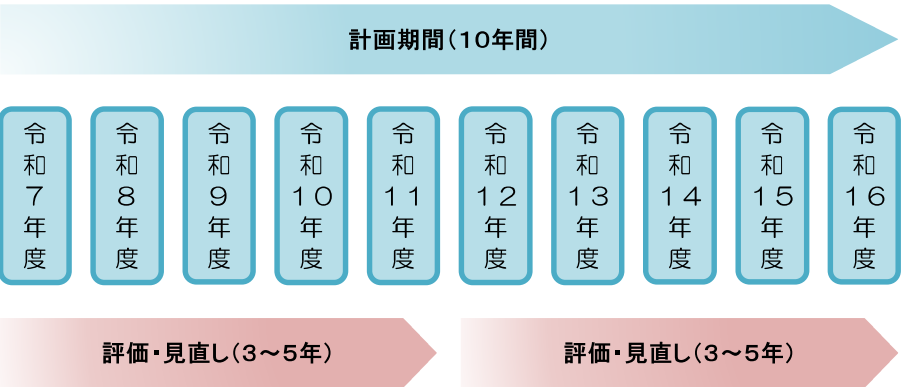
下水道事業を取り巻く環境が、今後益々厳しさを増す中、健全で効率的かつ安定した事業を継続していくために、施設・設備の投資見通しである「投資試算」と、財源見通しである「財源試算」及び投資以外の支出の経費を均衡するよう調整した中長期的な収支計画を定め、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図る。

（2）関連施策

施 策 名	策 定 時 期
湖南省上下水道事業経営プラン	平成25年3月
下水道使用料改定	平成27年4月
地方公営企業法適用	平成28年4月
湖南省下水道経営戦略	平成29年3月
湖南省下水道経営戦略（第1回改定）	令和 7年3月

（3）計画期間

令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とする。
なお、事業の評価を行い、概ね3～5年で見直しを行う。



（4）対象事業

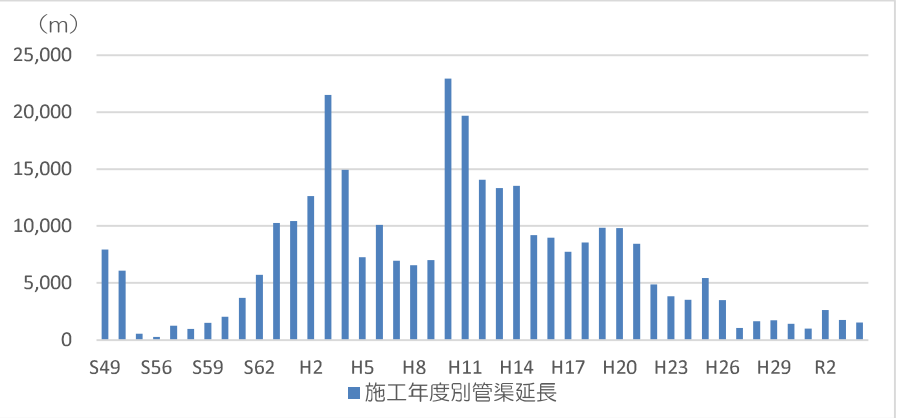
本市で実施している「公共下水道事業」、「特定環境保全公共下水道事業」の2事業を対象としている。

2. 下水道事業の概要

●事業概要 ※R6年度末時点		
	公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業
供用開始年度 （供用開始後年数）	旧石部町：平成4年度(33年) 旧甲西町：昭和63年度(37年)	旧甲西町：平成9年度(28年)
法適（全部適用・一部適用） ・非適用の区分	法適（全部適用） 平成28年4月1日	法適（全部適用） 平成28年4月1日
処理区数	19区	3区
流域下水道への接続	有	有
汚水中継ポンプ場	2箇所	無

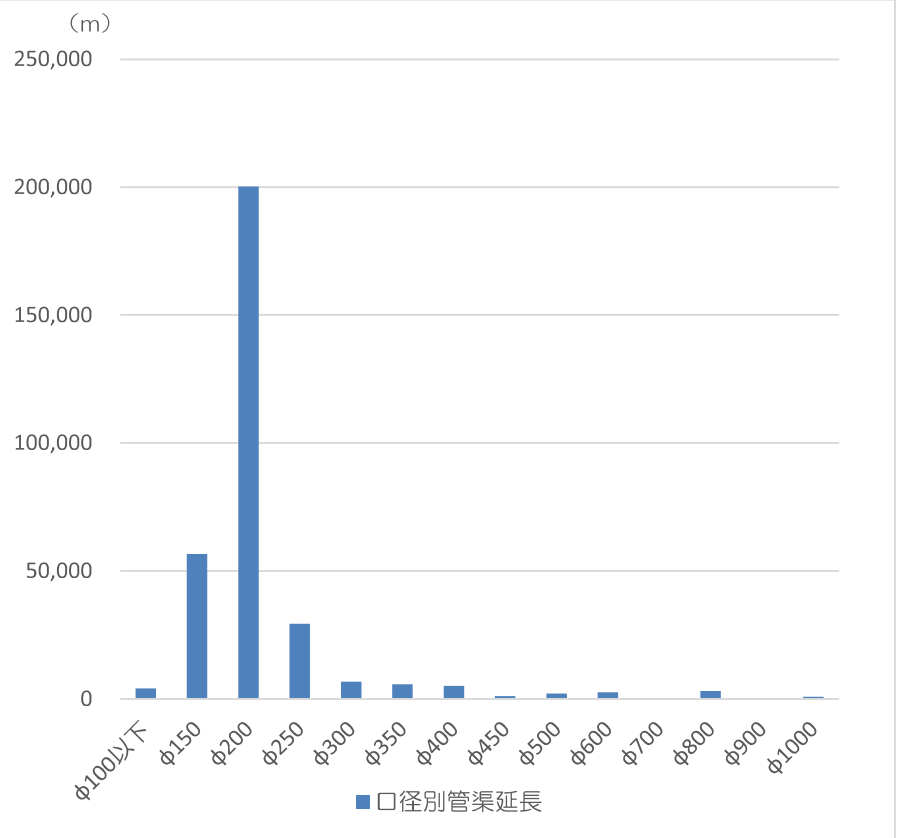
3. 下水道管渠の状況

● 施工年度別管渠延長



【図1 施工年度別管渠延長推計】

● 口径別管渠延長



【図2 口径別管渠延長推計】

5. 課題の整理

【課題1】：下水道使用料収入の確保

【課題2】：支出（経費）の削減

【課題3】：下水道施設の老朽化・耐震化対策

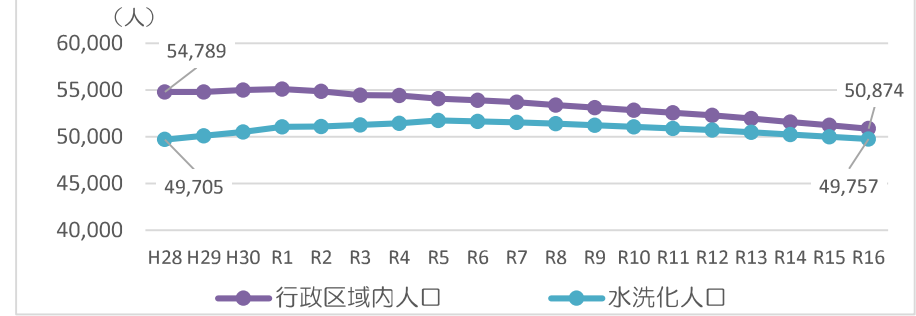
【課題4】：浸水対策

【課題5】：人材育成

4. 現状の問題点

【問題点1】：人口減少に伴う下水道使用料収入の減少

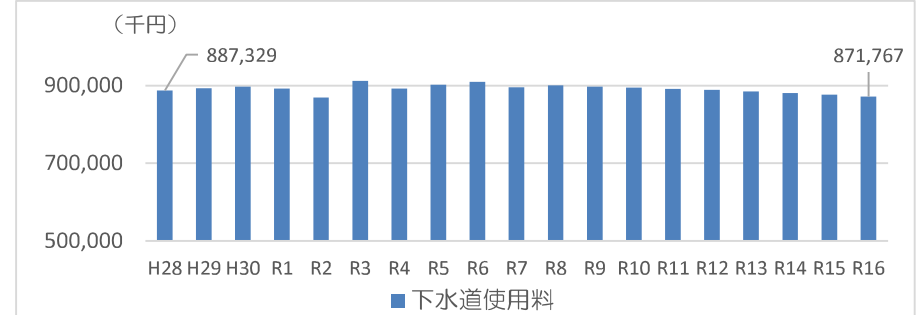
● 人口の予測



【図3 人口推計】

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に、行政区域内の人口を算出した。過去の実績値と予測値の整合性を確保するため、補正值を用いて調整した。

● 下水道使用料の予測



【図4 下水道使用料推計】

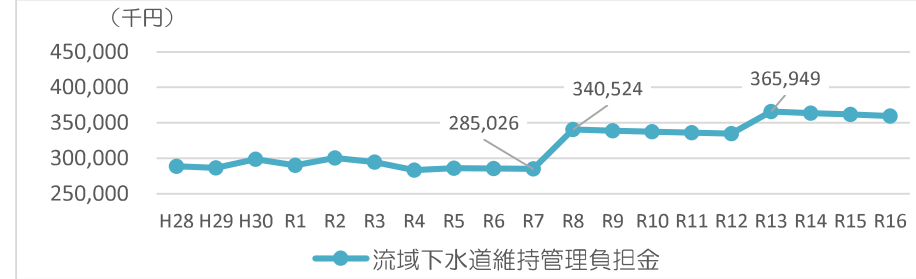
料金の値上げを実施しない場合、人口減少に伴い下水道使用料収入も減少する。

【問題点2】：物価等の上昇

- 人件費上昇率 0.49%/年 （人事院：給与勧告の実施状況等 より）
- 経費上昇率 0.89%/年 （総務省統計局：平均消費者物価指数の動向 より）
- 建設改良費上昇率 2.30%/年 （国土交通省：建設工事費デフレーター より）

【問題点3】：流域負担金の上昇（R8,13年度に値上げ予定）

● 流域下水道管理運営費負担金の予測



【図5 流域下水道管理運営費負担金推計】

【問題点4】：下水道施設の老朽化

- 最も古い管渠は、昭和49年度に施工
- 50年経過（法定耐用年数50年）

【問題点5】：台風や集中豪雨による浸水被害

- 平成25年 台風18号 ● 平成26年 台風11号
- 令和3年8月の大雨

【問題点6】：人材不足

- 下水道技術の高度化・複雑化

6. 財政計画

●公共下水道事業＋特定環境保全公共下水道事業

単位：百万円

項目			計算条件	シミュレーション1「現状の使用料体系 維持」										シミュレーション2「令和10年度 使用料単価 6%引上げ」									
				R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
収益的収支	収益的収入	営業収益		913	919	917	916	915	914	911	909	906	904	913	919	917	970	968	967	964	961	959	956
		料金収入	有収水量×使用料単価	895	900	897	894	891	889	884	880	876	872	895	900	897	948	945	942	937	933	929	924
		雨水処理負担金	減価償却－長期前受金＋利子	16	18	19	21	23	24	26	28	30	32	16	18	19	21	23	24	26	28	30	32
		その他	R6決算見込値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		営業外収益		705	709	714	719	722	726	729	730	733	736	705	709	714	719	722	726	729	730	733	736
		補助金	R7予算要求値	347	346	346	346	346	346	346	346	346	346	347	346	346	346	346	346	346	346	346	346
		長期前受金戻入	既存施設＋新規施設	358	363	368	373	376	380	383	384	387	390	358	363	368	373	376	380	383	384	387	390
		その他	R6決算見込値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		収入計		1,617	1,628	1,632	1,635	1,637	1,639	1,640	1,638	1,639	1,640	1,617	1,628	1,632	1,688	1,690	1,693	1,693	1,691	1,692	1,692
	収益的支出	営業費用		1,454	1,481	1,494	1,505	1,513	1,520	1,560	1,558	1,564	1,569	1,454	1,481	1,494	1,505	1,513	1,520	1,560	1,558	1,564	1,569
		人件費	毎年度0.49%上昇	37	34	34	34	35	35	35	35	35	36	37	34	34	34	35	35	35	35	35	36
		経費	毎年度0.89%上昇	435	460	460	459	459	458	491	490	489	488	435	460	460	459	459	458	491	490	489	488
		減価償却費	既存施設＋新規施設	983	987	1,000	1,011	1,019	1,027	1,034	1,033	1,040	1,046	983	987	1,000	1,011	1,019	1,027	1,034	1,033	1,040	1,046
		営業外費用		142	141	136	132	126	121	117	115	114	113	142	141	136	132	126	121	117	115	114	113
		支払利息	利息1.5%/年	142	140	136	132	126	121	117	115	113	112	142	140	136	132	126	121	117	115	113	112
		その他	R6決算見込値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出計		1,597	1,622	1,630	1,637	1,639	1,641	1,677	1,673	1,678	1,682	1,597	1,622	1,630	1,637	1,639	1,641	1,677	1,673	1,678	1,682	
特別利益				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失				1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度純利益（又は純損失）				20	6	2	-2	-2	-2	-37	-35	-39	-42	20	6	2	51	51	51	16	18	14	10
繰越利益剰余金				267	100	100	98	95	93	56	21	-17	-59	267	100	100	100	100	100	100	100	100	100
資本的収支	資本的収入	企業債		818	651	625	531	466	430	460	467	492	501	818	651	625	531	466	430	460	467	492	501
		資本費平準化債	計算式により算出	150	111	83	79	39	0	0	0	0	0	150	111	83	79	39	0	0	0	0	0
		公共下水道事業債	建設費×50%	572	436	446	369	378	343	395	404	414	423	572	436	446	369	378	343	395	404	414	423
		流域下水道事業債	流域負担金分	96	103	97	82	49	87	65	63	79	79	96	103	97	82	49	87	65	63	79	79
		他会計出資金	R7の基準内のみ	260	142	142	142	142	142	142	142	142	142	260	142	142	142	142	142	142	142	142	142
		他会計補助金	見込まない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計負担金	見込まない	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国（都道府県）補助金		161	313	321	263	269	243	282	287	294	301	161	313	321	263	269	243	282	287	294	301
		管渠築造費等	補助率30～40%	0	280	287	228	233	206	244	249	255	261	0	280	287	228	233	206	244	249	255	261
		浸水対策事業費	補助率40%	0	33	34	35	36	37	38	38	39	40	0	33	34	35	36	37	38	38	39	40
		工事負担金	R6決算見込値	6	22	22	22	22	22	22	22	22	22	6	22	22	22	22	22	22	22	22	22
		収入計		1,255	1,128	1,111	958	899	837	906	918	950	966	1,255	1,128	1,111	958	899	837	906	918	950	966
	資本的支出	建設改良費		815	1,000	1,014	845	829	798	881	896	931	949	815	1,000	1,014	845	829	798	881	896	931	949
		管渠築造費等	建設計画	642	783	801	644	659	589	690	705	722	738	668	783	801	644	659	589	690	705	722	738
		人件費	毎年度0.49%上昇	27	24	25	25	25	25	25	25	25	25	27	24	25	25	25	25	25	25	25	25
		浸水対策事業費	建設計画	57	89	91	94	96	98	101	103	105	107	57	89	91	94	96	98	101	103	105	107
		流域下水道建設事業市町負担金	県聞き取り	90	103	97	82	49	87	65	63	79	79	90	103	97	82	49	87	65	63	79	79
		企業債償還金	既存企業債＋新規企業債	1,003	974	938	942	885	752	672	624	627	569	1,003	974	938	942	885	752	672	624	627	569
		支出計		1,818	1,973	1,952	1,788	1,714	1,550	1,553	1,519	1,558	1,518	1,818	1,973	1,952	1,788	1,714	1,550	1,553	1,519	1,558	1,518
資本的収入額が資本的支出額に不足する額				562	845	841	829	815	713	647	602	607	552	562	845	841	829	815	713	647	602	607	552
補填財源	損益勘定留保資金（過）	使用優先順位2	69	188	25	0	0	0	0	55	154	253	69	188	25	0	0	0	55	154	253		
	損益勘定留保資金（当）	使用優先順位3	437	599	632	639	644	647	596	496	400	244	437	599	632	639	644	647	596	496	400	244	
	建設改良積立金	使用優先順位4	0	0	125	142	75	0	0	0	0	0	0	0	125	142	125	20	0	0	0	0	
	消費税資本的収支支払調整額	使用優先順位1	56	58	59	49	47	46	50	51	54	55	56	58	59	49	47	46	50	51	54	55	
	計		562	845	841	829	766	694	647	602	607	552	562	845	841	829	815	713	647	602	607	552	
補填財源不足額（当年度）				0	0	0	0	49	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補填財源不足額（累計）				0	0	0	0	49	69	69	69	69	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債残高				11,494	11,171	10,859	10,447	10,028	9,706	9,494	9,337	9,202	9,135	11,494	11,171	10,859	10,447	10,028	9,706	9,494	9,337	9,202	9,135

7. 業務指標

●公共下水道事業＋特定環境保全公共下水道事業

項目		目標	算出方法	シミュレーション1「現状の使用料体系 維持」										シミュレーション2「令和10年度 使用料単価 6%引上げ」									
				R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
業務指標	経費回収率	100%以上	使用料単価／汚水処理原価	103.0%	100.6%	100.1%	99.7%	99.7%	99.7%	95.9%	96.1%	95.7%	95.4%	103.0%	100.6%	100.1%	105.7%	105.6%	105.7%	101.7%	101.9%	101.5%	101.1%
	使用料単価		下水道使用料／有収水量	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	154.2	163.4	163.4	163.4	163.4	163.4	163.4	163.4
	汚水処理原価	〃	収益的支出計－公費負担分	149.8	153.3	154.0	154.7	154.7	154.7	160.7	160.4	161.1	161.7	149.8	153.3	154.0	154.7	154.7	154.7	160.7	160.4	161.1	161.7
	経常収支比率	100%以上	収益的収入／収益的支出	101.3%	100.4%	100.1%	99.9%	99.8%	99.9%	97.8%	97.9%	97.7%	97.5%	101.3%	100.4%	100.1%	103.1%	103.1%	103.1%	101.0%	101.1%	100.8%	100.6%
	流動比率	100%以上	流動資産／流動負債	59.1%	61.6%	61.1%	64.9%	76.1%	84.9%	91.0%	90.1%	98.9%	101.7%	59.1%	61.6%	61.1%	68.8%	80.7%	89.9%	96.5%	95.6%	104.8%	107.8%
企業債残高対事業規模比率		〃	企業債残高／料金収入	1284%	1241%	1210%	1168%	1125%	1092%	1074%	1061%	1051%	1048%	1284%	1241%	1210%	1102%	1061%	1031%	1013%	1001%	991%	989%

8. 今後の取り組み

【取組1】：水洗化率の向上

令和5年度末現在、水洗化率は96.9%となっている。しかし、依然として下水道に接続していない世帯があり、水洗化率のさらなる向上が求められる。水洗化率を高めるためには、未接続世帯に対し下水道の利便性や衛生面でのメリットを十分に周知し、接続を促進することが重要である。今後も引き続き戸別訪問や広報活動を強化し、水洗化率の向上を図ることと、下水道事業の安定運営に不可欠な料金収入の増加につなげていく。

【取組2】：下水道使用料の改定

令和10年度から収益的収支がマイナスになり、令和11年度には資本的収支の補填財源もマイナスとなる見込みであるため、令和10年度からの料金改定が必要となる。料金改定には約2年間の検討期間が必要であるため、令和8年度から検討を開始する必要がある。その際、令和13年度に見込まれる流域負担金の値上げ分も考慮する必要がある。

【取組3】：官民連携

上下水道施設の老朽化に伴い、維持管理費が増加している。適正な維持管理に加え、技術サポートやコスト配分の見直しを通じて、さらなる効率化とコスト削減、サービス向上が求められる。
また、下水道事業に従事する職員の減少により、災害対応が難しくなる可能性がある。そのため、施設の維持管理については、高い専門